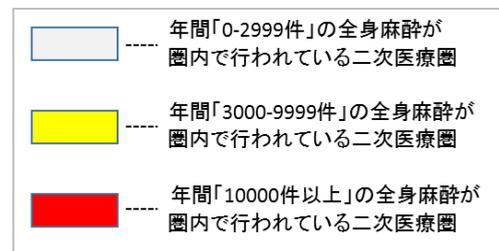
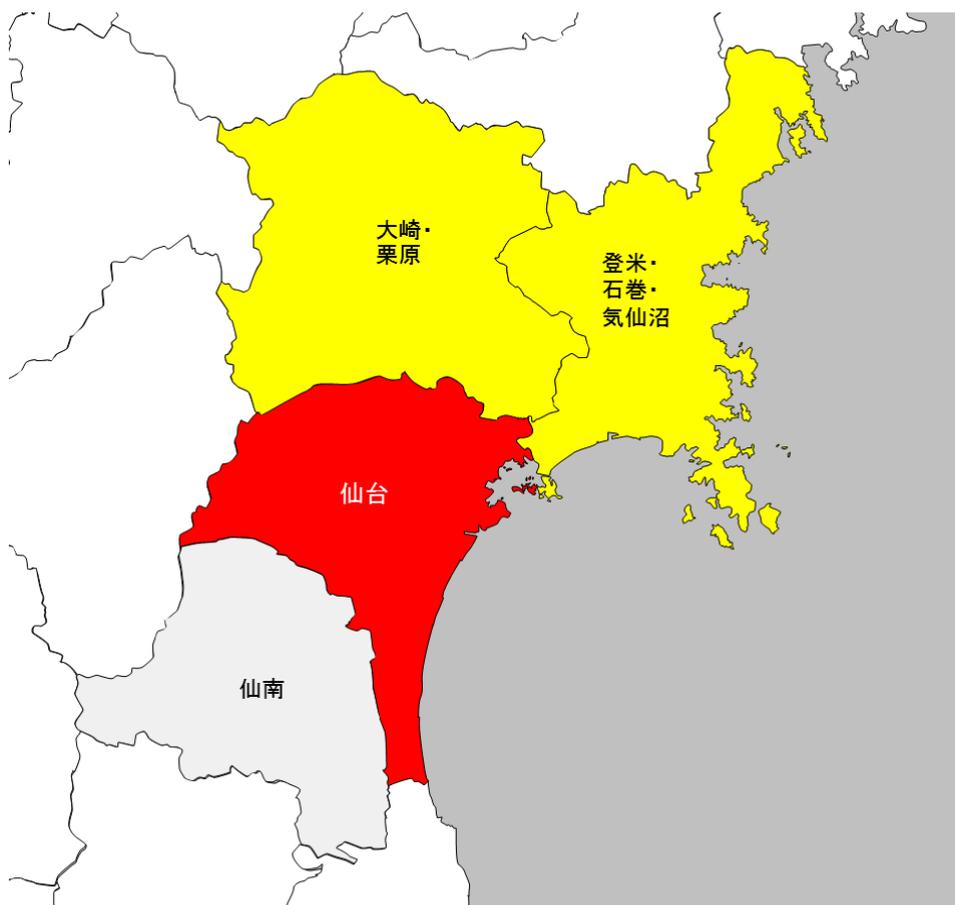


# 4. 宮城県



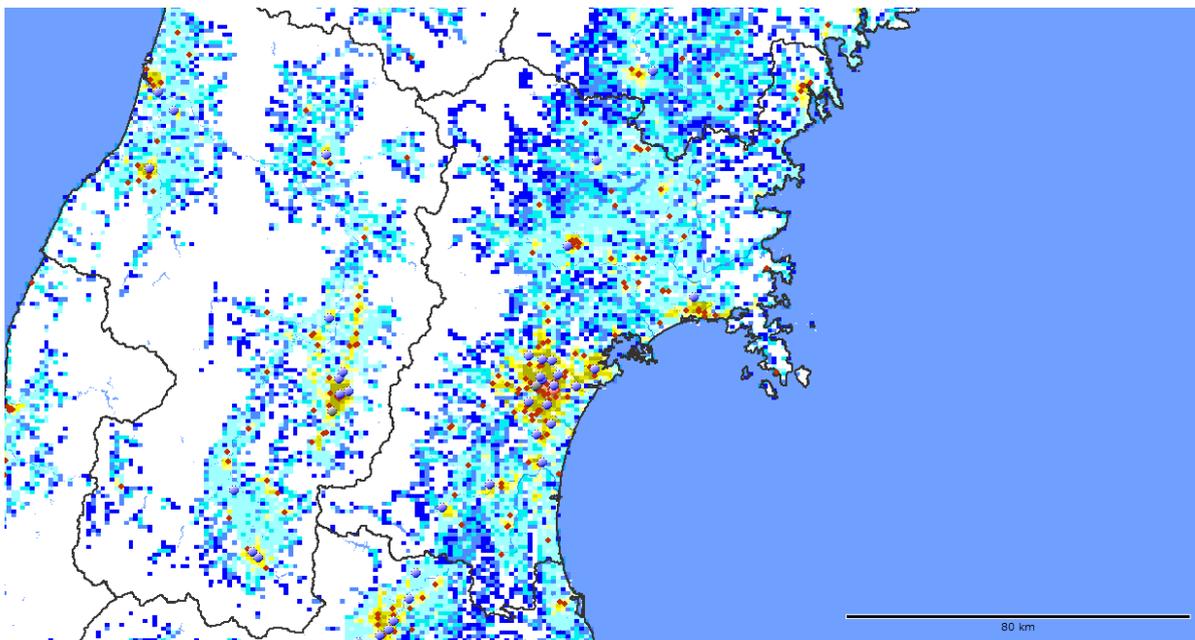
## 4.宮城県(2018年版)

### 目次

宮城県	4 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料 .....	4 - 8
1. 仙南医療圏 .....	4 - 20
2. 仙台医療圏 .....	4 - 25
3. 大崎・栗原医療圏 .....	4 - 30
4. 石巻・登米・気仙沼医療圏 .....	4 - 35

# 4. 宮城県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (宮城県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 宮城県は、総人口約2,334千人(2015年)、面積7,282km<sup>2</sup>、人口密度は320人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 宮城県の総人口は2025年に2,227千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に1,933千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の300千人が、2025年にかけて390千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には441千人へと増加する(2025年比+13%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 宮城県の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値51)、介護給付費は249千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 宮城県の一人当たり急性期医療密度指数は1、一人当たり慢性期医療密度指数は0.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 宮城県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、28,181人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が17,998床(偏差値49)、高齢者住宅等が10,183床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、24,158人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム43、軽費ホーム50、グループホーム52、サ高住47である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、3,423人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

宮城県の総人口は、2005年2,360,218人が、2015年に2,333,899人と1%減少し、2025年の人口が2,227,471人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

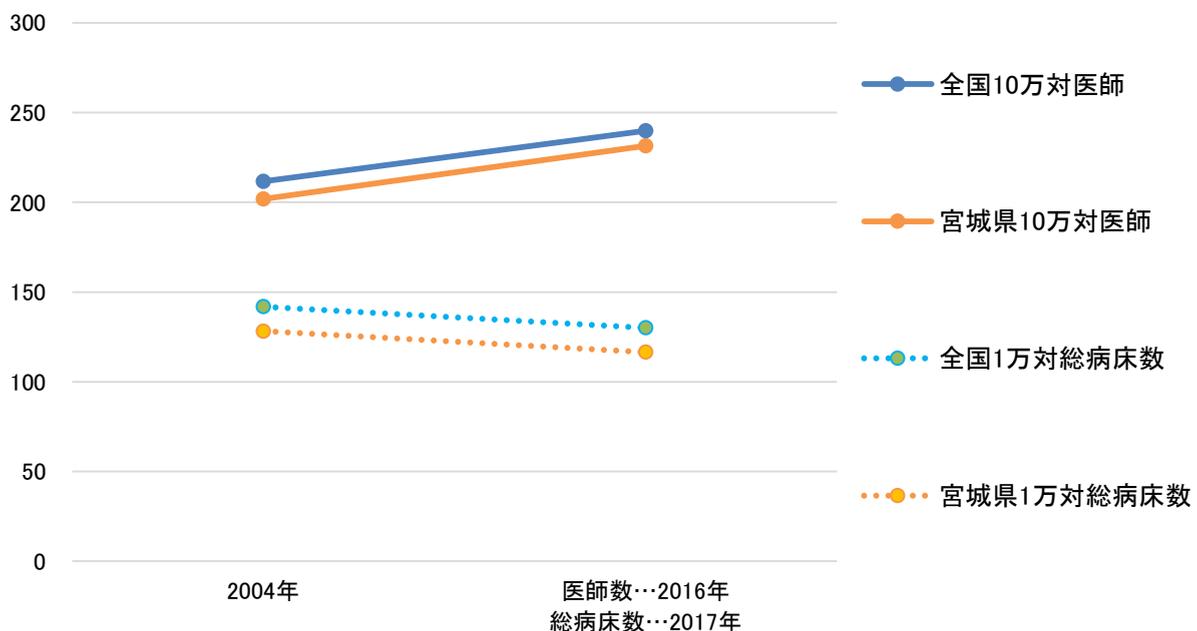
2004年の病院数が150(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2017年に140(人口10万人当たり6病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が1,551(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に1,659(人口10万人当たり71診療所(全国平均80)偏差値45)と、108診療所が増加した。

2004年の総病床数が30,258床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に27,203床(人口1万人当たり117(全国平均130)偏差値47)と、3,055床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が4,765人(人口10万人当たり202人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に5,404人(人口10万人当たり232人(全国平均240人)偏差値49)と、639人の増加、率にして13%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

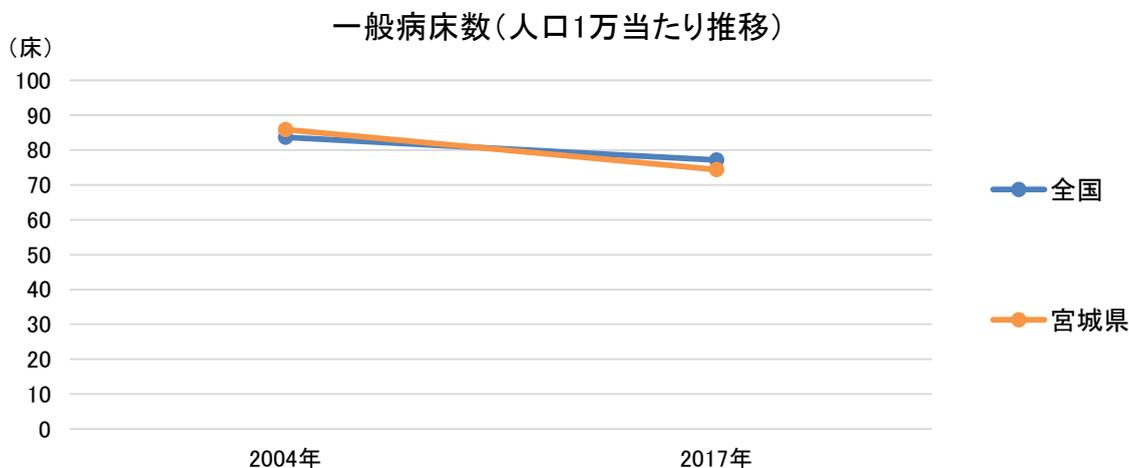
人口当たり医師数・総病床数の推移



#### 4.宮城県(2018年版)

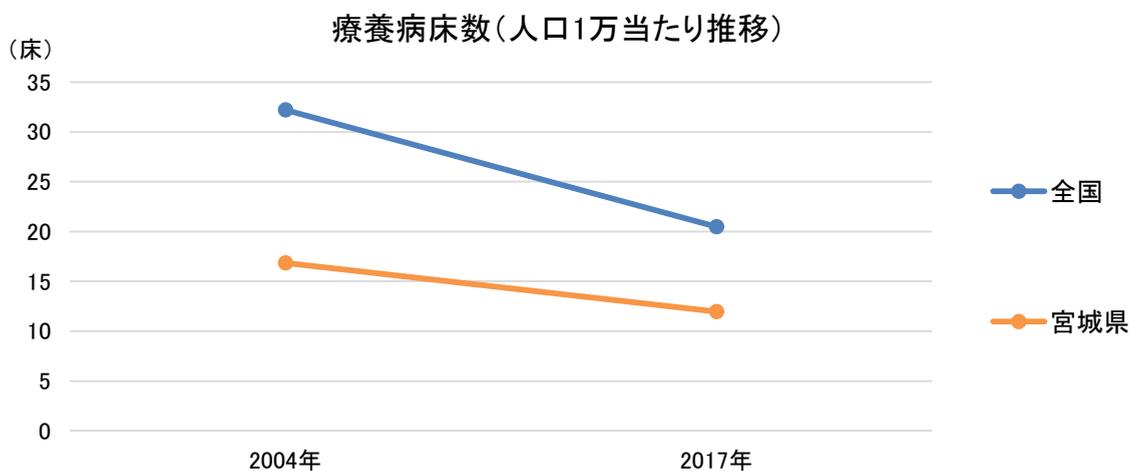
##### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が20,272床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2017年に17,360床(人口1万人当たり74(全国平均77)偏差値49)と、2,912床の減少、率にして14%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



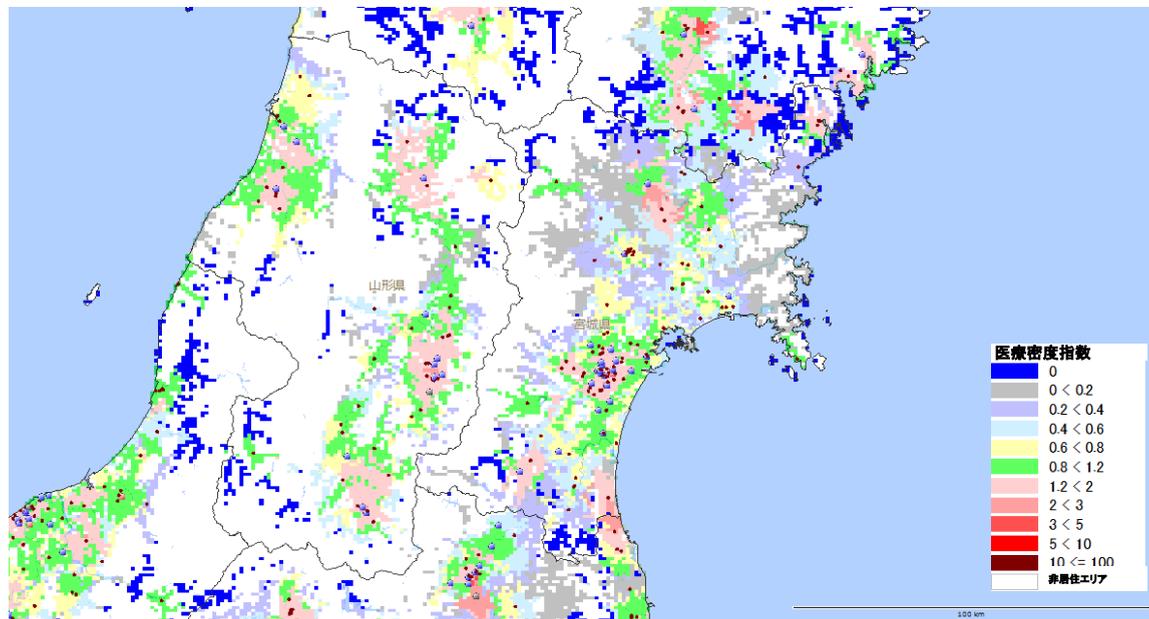
##### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,670床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2017年に3,589床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値42)と、81床の減少、率にして2%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



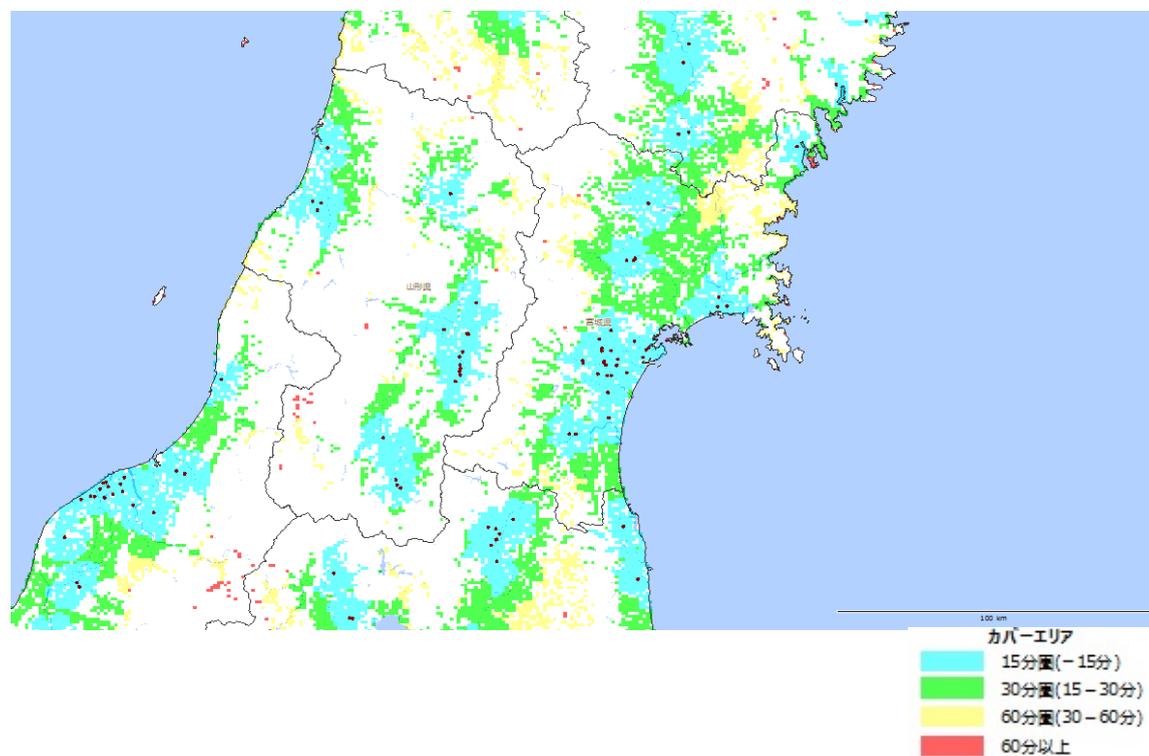
## (宮城県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表4-1 急性期医療密度指数マップ



図表4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 4-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
宮城県	2,334	14位	7,282	16位	320.5		26%	2,227	1,933	300	390	441	-5%	-13%	30%	13%
仙南	177	8%	1,551	21%	114.2	過疎地域型	30%	160	130	28	33	35	-10%	-19%	18%	6%
仙台	1,529	66%	1,649	23%	927.0	大都市型	23%	1,510	1,365	167	243	291	-1%	-10%	46%	20%
大崎・栗原	276	12%	2,329	32%	118.4	地方都市型	31%	248	203	47	49	52	-10%	-18%	4%	6%
石巻・登米・気仙沼	352	15%	1,753	24%	201.0	地方都市型	31%	309	235	58	64	62	-12%	-24%	10%	-3%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 4-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
宮城県	1.00	0.51	24,946	31,310	-25.5%
仙南	0.81	0.52	2,402	2,692	-12.1%
仙台	1.23	0.43	14,679	19,366	-31.9%
大崎・栗原	0.54	0.90	3,508	3,902	-11.2%
石巻・登米・気仙沼	0.58	0.56	4,357	5,350	-22.8%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資\_図表 4-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
宮城県	352	51	1.008	130	49	0.966	199	56	1.051	249	49
仙南	367	55	1.002	145	54	1.024	200	57	1.005	233	45
仙台	346	50	1.007	126	47	0.948	196	55	1.051	240	46
大崎・栗原	359	53	1.005	134	50	0.969	205	60	1.060	286	60
石巻・登米・気仙沼	360	53	1.016	135	51	0.985	205	60	1.065	256	51
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 4-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
宮城県	819	42	0.896	376	42	0.820	415	47	0.981
仙南	807	41	0.870	393	43	0.836	389	40	0.919
仙台	860	45	0.945	395	44	0.871	432	51	1.020
大崎・栗原	752	36	0.819	326	37	0.702	404	44	0.963
石巻・登米・気仙沼	764	37	0.838	354	39	0.772	389	40	0.925
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 4-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
宮城県	140	1.7%	6.0	49	1,659	1.6%	71	45
仙南	13	9%	7.3	52	112	7%	63	41
仙台	79	56%	5.2	47	1,170	71%	77	48
大崎・栗原	26	19%	9.4	56	167	10%	61	40
石巻・登米・気仙沼	22	16%	6.2	49	210	13%	60	39
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

4.宮城県(2018年版)

資\_図表 4-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
宮城県	1,659	1.6%	71	45	1,526	1.6%	65	45	133	1.8%	5.7	50
仙南	112	7%	63	41	102	7%	58	41	10	8%	5.6	50
仙台	1,170	71%	77	48	1,082	71%	71	48	88	66%	5.8	51
大崎・栗原	167	10%	61	40	149	10%	54	39	18	14%	6.5	49
石巻・登米・気仙沼	210	13%	60	39	193	13%	55	40	17	13%	4.8	49
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 4-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(53.7)
宮城県	25,552	1.6%	1,095	47	1,651	1.7%	71	49	27,203	1.6%	1,166	47
仙南	1,923	8%	1,085	47	100	6%	56	48	2,023	7%	1,142	47
仙台	16,416	64%	1,074	47	1,109	67%	73	49	17,525	64%	1,147	47
大崎・栗原	3,398	13%	1,232	50	230	14%	83	51	3,628	13%	1,315	50
石巻・登米・気仙沼	3,815	15%	1,083	47	212	13%	60	48	4,027	15%	1,143	47
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 4-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
宮城県	15,837	1.8%	679	49	3,461	1.1%	148	45	6,166	1.9%	264	50
仙南	935	6%	528	42	375	11%	212	48	605	10%	341	54
仙台	11,106	70%	727	51	1,456	42%	95	42	3,846	62%	252	50
大崎・栗原	1,602	10%	581	45	1,040	30%	377	56	692	11%	251	50
石巻・登米・気仙沼	2,194	14%	623	46	590	17%	167	46	1,023	17%	290	51
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 4-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
宮城県	959	1.2%	41	45	1,121	1.5%	48	48
仙南	85	9%	48	47	116	10%	65	51
仙台	640	67%	42	45	847	76%	55	50
大崎・栗原	40	4%	15	39	99	9%	36	46
石巻・登米・気仙沼	194	20%	55	48	59	5%	17	43
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資\_図表 4-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
宮城県	10,622	9,665	468	15,024	6,368	2,909	60.3%	56	13.9%	54
仙南	804	705	91	1,106	242	263	74.4%	61	25.7%	59
仙台	6,567	6,048	98	9,794	5,016	1,347	54.7%	54	6.8%	51
大崎・栗原	1,274	1,009	209	2,062	591	779	63.1%	57	21.2%	57
石巻・登米・気仙沼	1,977	1,903	70	2,062	519	520	78.6%	63	11.9%	53
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 4-11 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
宮城県	76,104	1.9%	3,261	51	17,040	1.8%	730	50
仙南	1,236	2%	698	41	936	5%	528	42
仙台	67,656	89%	4,426	55	12,060	71%	789	52
大崎・栗原	3,048	4%	1,105	42	2,112	12%	766	51
石巻・登米・気仙沼	4,164	5%	1,182	42	1,932	11%	548	43
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

4.宮城県(2018年版)

資\_図表 4-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
宮城県	5,404	1.8%	232	49	3,629	1.8%	155	49	1,775	1.7%	76	48
仙南	266	5%	150	40	170	5%	96	41	96	5%	54	39
仙台	4,146	77%	271	54	2,812	77%	184	53	1,334	75%	87	53
大崎・栗原	455	8%	165	42	300	8%	109	43	155	9%	56	40
石巻・登米・気仙沼	537	10%	152	40	347	10%	98	42	190	11%	54	39
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 4-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
宮城県	409	1.8%	17.5	50	226	1.7%	9.7	48	211	1.9%	9.0	50
仙南	20	5%	11.3	43	9	4%	5.1	38	9	4%	5.1	41
仙台	325	79%	21.3	54	190	84%	12.4	54	175	83%	11.4	56
大崎・栗原	29	7%	10.5	42	8	4%	2.9	34	12	6%	4.4	39
石巻・登米・気仙沼	35	9%	9.9	41	19	8%	5.4	39	15	7%	4.3	39
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 4-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
宮城県	87	1.6%	3.7	47	156	1.6%	6.7	47	134	1.7%	5.7	49
仙南	5	6%	2.8	43	5	3%	2.8	35	8	6%	4.5	44
仙台	64	74%	4.2	49	125	80%	8.2	51	112	84%	7.3	55
大崎・栗原	7	8%	2.5	41	15	10%	5.4	43	6	4%	2.2	35
石巻・登米・気仙沼	11	13%	3.1	44	11	7%	3.1	36	8	6%	2.3	36
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 4-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
宮城県	164	1.8%	7.0	49	433	2.0%	18.6	53	279	1.7%	12.0	48
仙南	12	7%	6.8	49	22	5%	12.4	44	10	4%	5.6	34
仙台	122	74%	8.0	52	332	77%	21.7	57	217	78%	14.2	53
大崎・栗原	14	9%	5.1	44	37	9%	13.4	45	28	10%	10.2	44
石巻・登米・気仙沼	16	10%	4.5	42	42	10%	11.9	43	24	9%	6.8	37
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 4-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
宮城県	101	1.7%	4.3	48	110	1.6%	4.7	47	82	1.4%	3.5	47
仙南	5	5%	2.8	41	3	3%	1.7	35	1	1%	0.6	37
仙台	76	75%	5.0	51	88	80%	5.8	52	73	89%	4.8	51
大崎・栗原	7	7%	2.5	40	8	7%	2.9	40	5	6%	1.8	41
石巻・登米・気仙沼	13	13%	3.7	45	11	10%	3.1	41	3	4%	0.9	38
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 4-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
宮城県	123	1.7%	5.3	49	29	1.8%	1.2	50	66	1.7%	2.8	49
仙南	3	2%	1.7	38	2	7%	1.1	49	7	11%	4.0	55
仙台	105	85%	6.9	54	22	76%	1.4	52	45	68%	2.9	50
大崎・栗原	9	7%	3.3	43	3	10%	1.1	48	9	14%	3.3	51
石巻・登米・気仙沼	6	5%	1.7	38	2	7%	0.6	43	5	8%	1.4	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

4.宮城県(2018年版)

資\_図表 4-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
宮城県	43	2.0%	1.8	51	57	2.3%	2.4	53
仙南	1	2%	0.6	41	1	2%	0.6	40
仙台	36	84%	2.4	55	48	84%	3.1	58
大崎・栗原	4	9%	1.5	48	6	11%	2.2	51
石巻・登米・気仙沼	2	5%	0.6	41	2	4%	0.6	40
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 4-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
宮城県	19,597	1.7%	840	48	15,025	1.6%	644	47	4,572	2.0%	196	53
仙南	1,153	6%	651	41	886	6%	500	41	267	6%	151	46
仙台	13,480	69%	882	49	10,417	69%	682	48	3,063	67%	200	53
大崎・栗原	2,258	12%	819	47	1,732	12%	628	46	526	11%	191	52
石巻・登米・気仙沼	2,707	14%	768	45	1,990	13%	565	43	717	16%	203	54
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 4-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
宮城県	1,815	1.3%	78	44	5,354	1.8%	229	49
仙南	116	6%	66	42	283	5%	160	42
仙台	1,199	66%	78	45	4,093	76%	268	53
大崎・栗原	151	8%	55	40	449	8%	163	42
石巻・登米・気仙沼	349	19%	99	48	529	10%	150	41
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 4-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
宮城県	131	0.9%	0.4	40	22	1.6%	0.1	48	145	1.3%	0.5	41
仙南	4	3%	0.1	33	4	18%	0.1	58	8	6%	0.3	32
仙台	91	69%	0.5	43	12	55%	0.1	48	98	68%	0.6	46
大崎・栗原	18	14%	0.4	39	4	18%	0.1	50	20	14%	0.4	38
石巻・登米・気仙沼	18	14%	0.3	37	2	9%	0.0	43	19	13%	0.3	34
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資\_図表 4-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
宮城県	28,181	1.7%	94	44	17,998	1.8%	60	49	10,183	1.5%	34	44
仙南	2,525	9%	89	41	2,022	11%	71	58	503	5%	18	34
仙台	16,822	60%	101	48	9,728	54%	58	48	7,094	70%	43	50
大崎・栗原	4,047	14%	85	39	2,751	15%	58	47	1,296	13%	27	40
石巻・登米・気仙沼	4,787	17%	83	37	3,497	19%	60	49	1,290	13%	22	37
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 4-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
宮城県	8,171	2.2%	27	58	9,600	1.7%	32	47	227	0.4%	0.8	43
仙南	901	11%	32	66	1,065	11%	38	52	56	25%	2.0	46
仙台	4,333	53%	26	56	5,328	56%	32	47	67	30%	0.4	42
大崎・栗原	1,186	15%	25	54	1,461	15%	31	46	104	46%	2.2	46
石巻・登米・気仙沼	1,751	21%	30	63	1,746	18%	30	45	0	0%	0	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

4.宮城県(2018年版)

資\_図表 4-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
宮城県	2,123	0.9%	7.1	43	402	1.7%	1.3	50	4,098	2.0%	13.6	52
仙南	0	0%	0	37	0	0%	0	43	363	9%	12.8	51
仙台	2,123	100%	12.7	48	262	65%	1.6	51	2,306	56%	13.8	53
大崎・栗原	0	0%	0	37	90	22%	1.9	52	667	16%	14.1	53
石巻・登米・気仙沼	0	0%	0	37	50	12%	0.9	47	762	19%	13.1	51
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 4-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
宮城県	3,560	1.5%	11.9	47	325	1.5%	1.1	48	3,235	1.5%	10.8	47	
仙南	140	4%	4.9	37	17	5%	0.6	46	123	4%	4.3	37	
仙台	2,403	68%	14.4	50	260	80%	1.6	51	2,143	66%	12.9	50	
大崎・栗原	539	15%	11.4	46	0	0%	0	43	539	17%	11.4	48	
石巻・登米・気仙沼	478	13%	8.2	41	48	15%	0.8	47	430	13%	7.4	42	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資\_図表 4-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)	訪問看護		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
宮城県	2,561	1.5%	8.5	41	1,849	1.5%	6.2	44	712	1.4%	2.4	43
仙南	208	8%	7.3	36	176	10%	6.2	44	31	4%	1.1	31
仙台	1,537	60%	9.2	44	1,054	57%	6.3	45	484	68%	2.9	48
大崎・栗原	383	15%	8.1	39	289	16%	6.1	44	95	13%	2.0	39
石巻・登米・気仙沼	433	17%	7.5	37	330	18%	5.7	42	103	14%	1.8	37
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 4-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
宮城県	27,581	1.8%	92	50	24,158	1.9%	80	51	3,423	1.5%	11.4	46
仙南	2,443	9%	86	45	2,214	9%	78	49	228	7%	8.1	40
仙台	15,890	58%	95	52	13,558	56%	81	52	2,332	68%	14.0	51
大崎・栗原	4,267	15%	90	48	3,849	16%	81	52	418	12%	8.8	41
石巻・登米・気仙沼	4,981	18%	86	45	4,536	19%	78	49	445	13%	7.7	39
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 4-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
宮城県	17,970	1.5%	60	46	7,167	1.4%	24	44	17,028	1.4%	57	43
仙南	693	4%	24	36	243	3%	9	33	1,383	8%	49	40
仙台	11,926	66%	72	49	3,931	55%	24	44	11,072	65%	66	47
大崎・栗原	2,562	14%	54	44	1,094	15%	23	44	1,973	12%	42	38
石巻・登米・気仙沼	2,789	16%	48	42	1,899	26%	33	51	2,600	15%	45	39
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 4-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
宮城県		2,360,218	2,333,899	-1%	2,227,471	-6%	11%	6%	18%
仙南	過疎地域型	191,139	177,192	-7%	160,359	-16%	3%	1%	4%
仙台	大都市型	1,463,279	1,528,508	4%	1,510,293	3%	19%	11%	32%
大崎・栗原	地方都市型	298,546	275,831	-8%	248,243	-17%	1%	-2%	-1%
石巻・登米・気仙沼	地方都市型	407,254	352,368	-13%	308,576	-24%	-3%	-3%	-7%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

4.宮城県(2018年版)

資\_図表 4-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
宮城県	150	6.4	48	140	6.0	49	-10	-7%
仙南	14	7.3	51	13	7.3	52	-1	-7%
仙台	82	5.6	46	79	5.2	47	-3	-4%
大崎・栗原	27	9.0	55	26	9.4	56	-1	-4%
石巻・登米・気仙沼	27	6.6	49	22	6.2	49	-5	-19%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 4-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
宮城県	1,551	66	45	1,659	71	45	108	7%
仙南	116	61	42	112	63	41	-4	-3%
仙台	1,051	72	48	1,170	77	48	119	11%
大崎・栗原	169	57	40	167	61	40	-2	-1%
石巻・登米・気仙沼	215	53	38	210	60	39	-5	-2%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 4-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
宮城県	4,765	202	49	5,404	232	49	639	13%
仙南	239	125	40	266	150	40	27	11%
仙台	3,648	249	54	4,146	271	54	498	14%
大崎・栗原	392	131	40	455	165	42	63	16%
石巻・登米・気仙沼	486	119	39	537	152	40	51	10%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 4-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
宮城県	30,258	128	48	27,203	117	47	-3,055	-10%
仙南	2,214	116	45	2,023	114	47	-191	-9%
仙台	18,708	128	47	17,525	115	47	-1,183	-6%
大崎・栗原	3,879	130	48	3,628	132	50	-251	-6%
石巻・登米・気仙沼	5,457	134	49	4,027	114	47	-1,430	-26%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 4-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
宮城県	20,272	86	51	17,360	74	49	-2,912	-14%
仙南	1,262	66	44	1,035	58	43	-227	-18%
仙台	13,174	90	52	12,111	79	51	-1,063	-8%
大崎・栗原	2,168	73	46	1,822	66	46	-346	-16%
石巻・登米・気仙沼	3,668	90	52	2,392	68	46	-1,276	-35%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 4-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

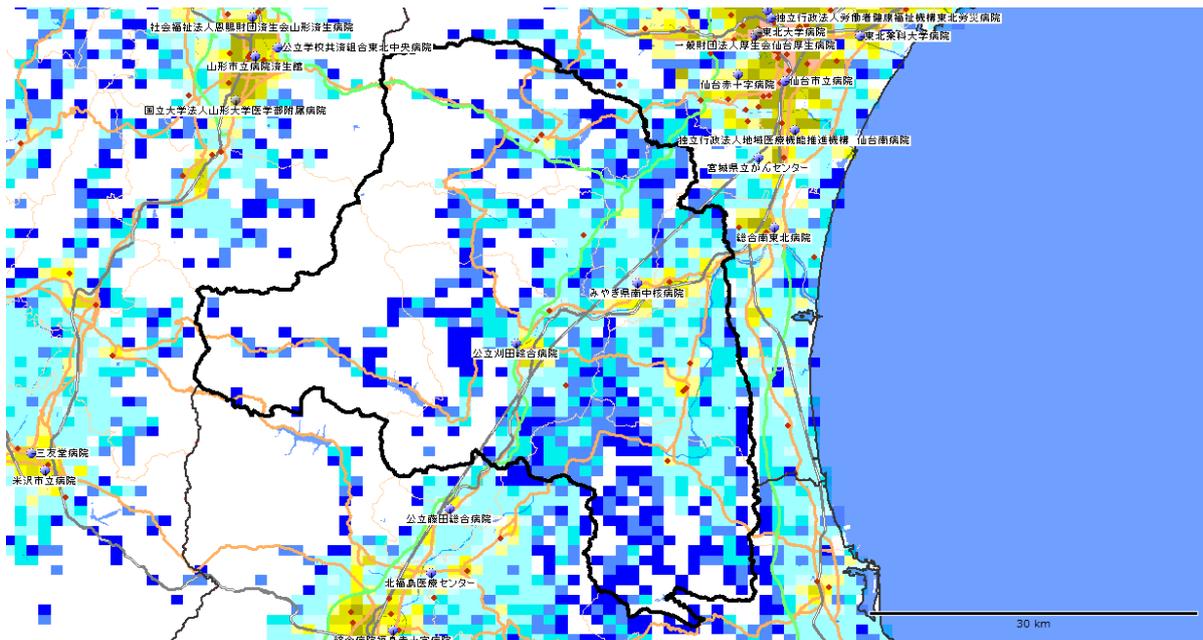
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
宮城県	3,670	17	41	3,589	12	42	-81	-2%
仙南	252	11	38	375	13	44	123	49%
仙台	1,927	18	42	1,560	9	40	-367	-19%
大崎・栗原	939	24	46	1,050	22	51	111	12%
石巻・登米・気仙沼	552	11	38	604	10	41	52	9%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

# せんなん 4-1. 仙南医療圏

構成市区町村 [白石市](#) [角田市](#) [蔵王町](#) [七ヶ宿町](#)  
[大河原町](#) [村田町](#) [柴田町](#) [川崎町](#)  
[丸森町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (仙南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 仙南(白石市)は、総人口約177千人(2015年)、面積1,551km<sup>2</sup>、人口密度は114人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 仙南の総人口は2025年に160千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に130千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には35千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 仙南の一人当たり医療費(国保)は367千円(偏差値55)、介護給付費は233千円(偏差値45)であり、医療費はやや高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 仙南の一人当たり急性期医療密度指数は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は0.52で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。仙南には、年間全身麻酔件数が1000例以上のみやぎ県南中核病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 仙南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,525人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,022床(偏差値58)、高齢者住宅等が503床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,214人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設46、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住37である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、228人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(仙南医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

仙南医療圏の総人口は、2005年191,139人が、2015年に177,192人と7%減少し、2025年の人口が160,359人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

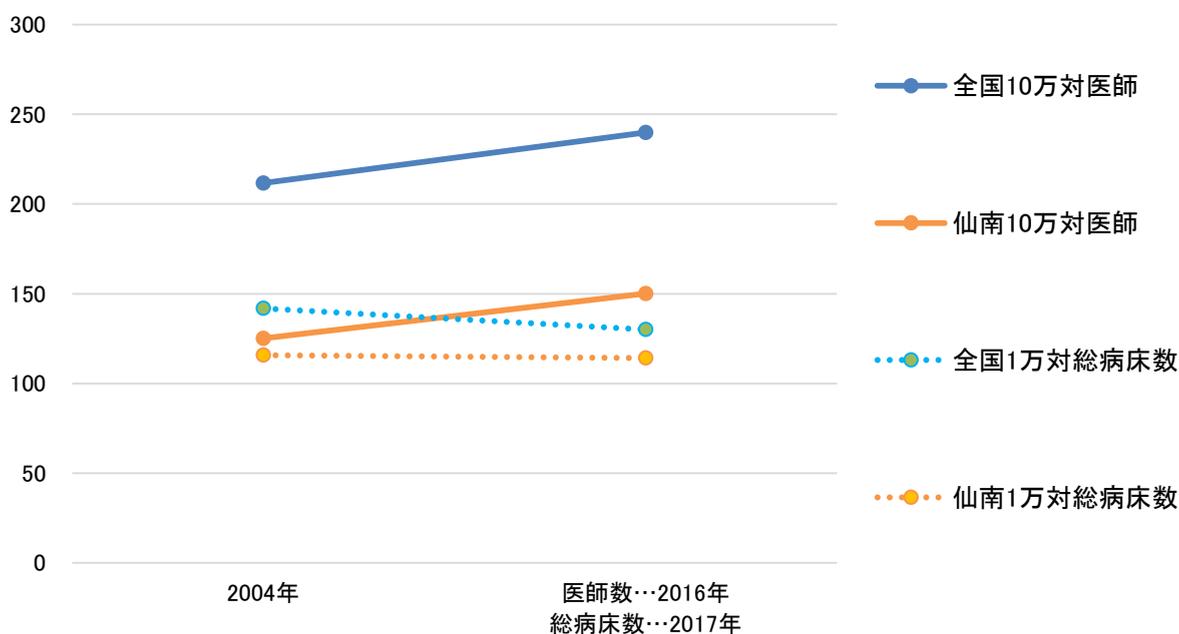
2004年の病院数が14(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2017年に13(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が116(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2017年に112(人口10万人当たり63診療所(全国平均80)偏差値41)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,214床(人口1万人当たり116(全国平均142)偏差値45)であったが、2017年に2,023床(人口1万人当たり114(全国平均130)偏差値47)と、191床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

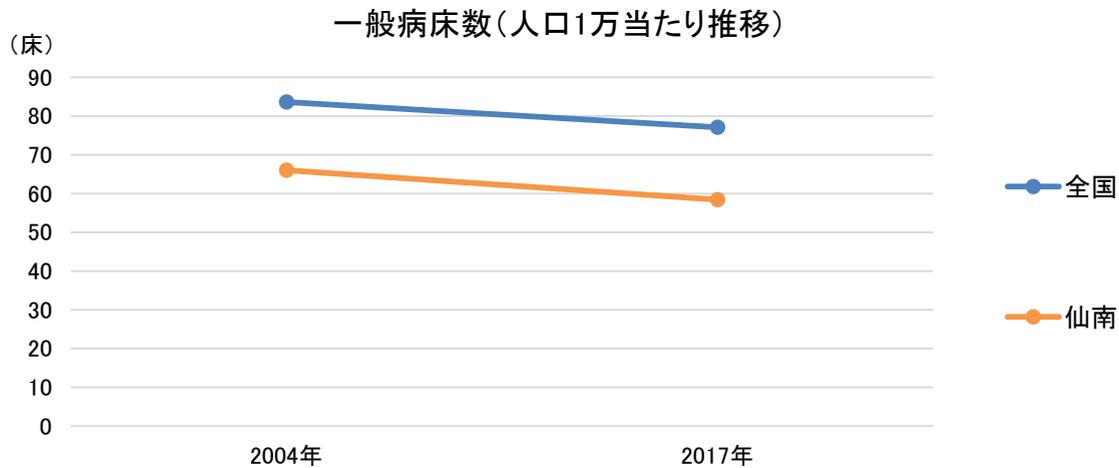
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が239人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に266人(人口10万人当たり150人(全国平均240人)偏差値40)と、27人の増加、率にして11%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



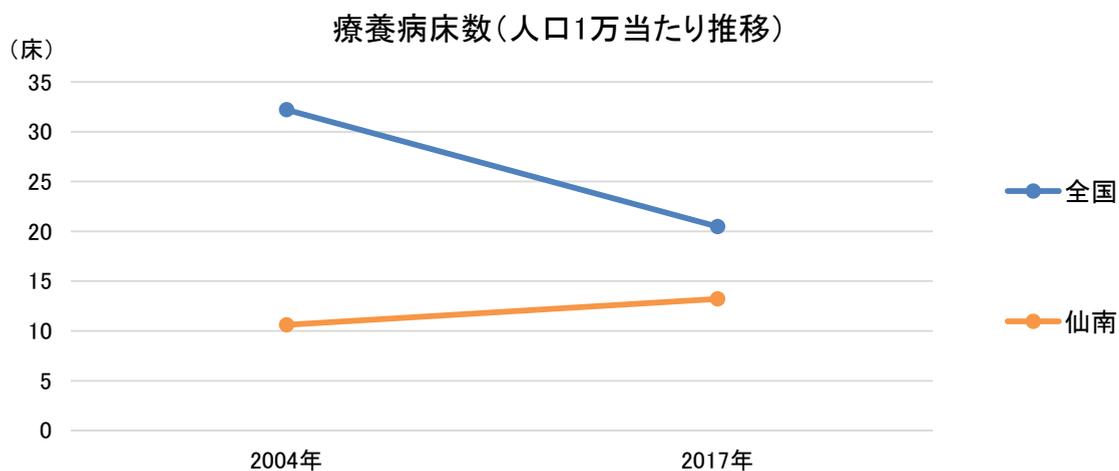
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,262床(人口1万人当たり66(全国平均84)偏差値44)であったが、2017年に1,035床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、227床の減少、率にして18%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



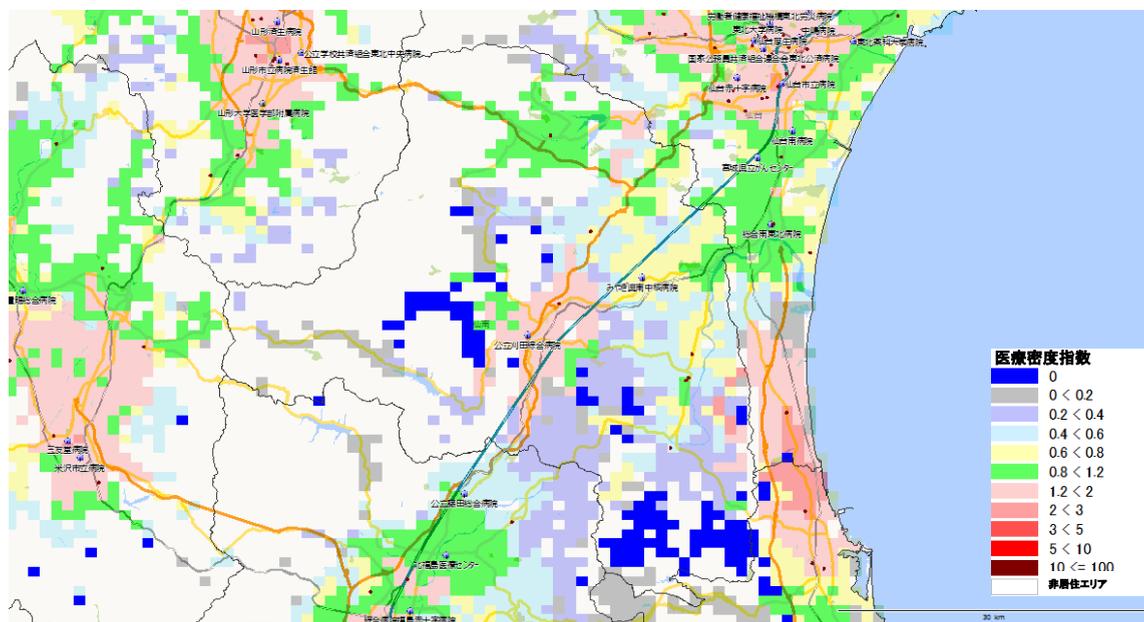
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が252床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2017年に375床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均20)偏差値44)と、123床の増加、率にして49%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



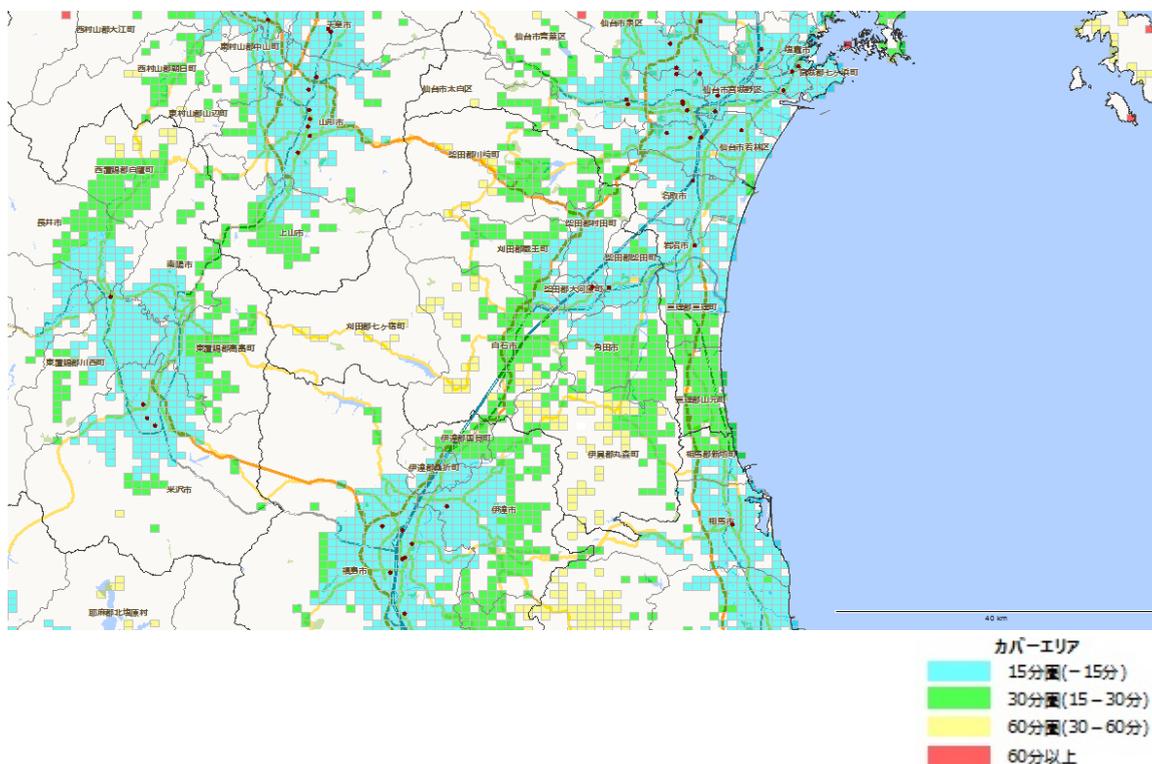
(仙南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表4-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表4-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

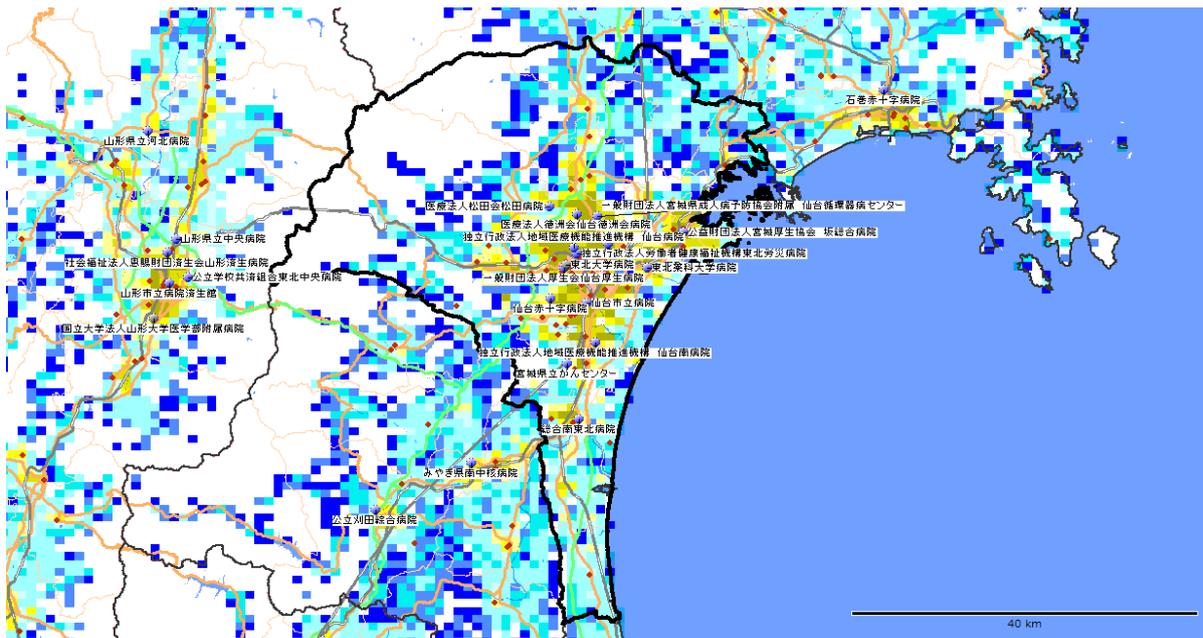


# 4-2. せんだい 仙台医療圏

構成市区町村	<a href="#">青葉区</a>	<a href="#">宮城野区</a>	<a href="#">若林区</a>	<a href="#">太白区</a>
	<a href="#">泉区</a>	<a href="#">塩竈市</a>	<a href="#">名取市</a>	<a href="#">多賀城市</a>
	<a href="#">岩沼市</a>	<a href="#">亘理町</a>	<a href="#">山元町</a>	<a href="#">松島町</a>
	<a href="#">七ヶ浜町</a>	<a href="#">利府町</a>	<a href="#">大和町</a>	<a href="#">大郷町</a>
	<a href="#">富谷町</a>	<a href="#">大衡村</a>		

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (仙台医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 仙台(仙台市青葉区)は、総人口約1,529千人(2015年)、面積1,649km<sup>2</sup>、人口密度は927人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 仙台の総人口は2025年に1,510千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に1,365千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の167千人が、2025年にかけて243千人へと増加し(2015年比+46%)、2040年には291千人へと増加する(2025年比+20%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 仙台の一人当たり医療費(国保)は346千円(偏差値50)、介護給付費は240千円(偏差値46)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 仙台の一人当たり急性期医療密度指数は1.23、一人当たり慢性期医療密度指数は0.43で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が54(病院医師数53、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。仙台には、年間全身麻酔件数が2000例以上の仙台市立病院(Ⅲ群・救命)、東北労災病院(Ⅲ群)、東北公済病院(Ⅲ群)、NHQ仙台医療センター(Ⅱ群・救命)、東北大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の仙台赤十字病院(Ⅲ群)、仙台オープン病院(Ⅲ群)、宮城県立こども病院(Ⅲ群)、JCHO仙台病院(Ⅲ群)、仙台厚生病院(Ⅲ群)、宮城県立がんセンター(Ⅲ群)、東北医科薬科大学病院(Ⅰ群)、500例以上の松田病院(Ⅲ群)、仙台徳洲会病院(Ⅲ群)、中嶋病院(Ⅲ群)、総合南東北病院(Ⅲ群)、坂総合病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 仙台の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16,822人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が9,728床(偏差値48)、高齢者住宅等が7,094床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,558人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム48、軽費ホーム51、グループホーム53、サ高住50である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、2,332人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (仙台医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

仙台医療圏の総人口は、2005年1,463,279人が、2015年に1,528,508人と4%増加し、2025年の人口が1,510,293人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

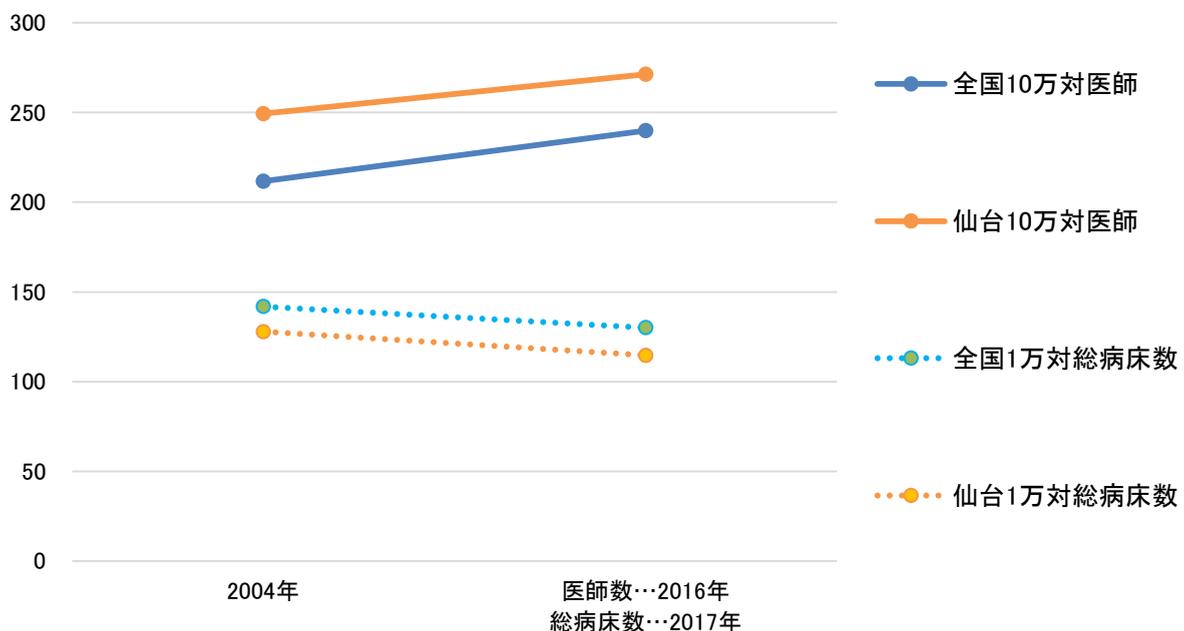
2004年の病院数が82(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に79(人口10万人当たり5.2病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が1,051(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2017年に1,170(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、119診療所が増加した。

2004年の総病床数が18,708床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に17,525床(人口1万人当たり115(全国平均130)偏差値47)と、1,183床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,648人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2016年に4,146人(人口10万人当たり271人(全国平均240人)偏差値54)と、498人の増加、率にして14%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

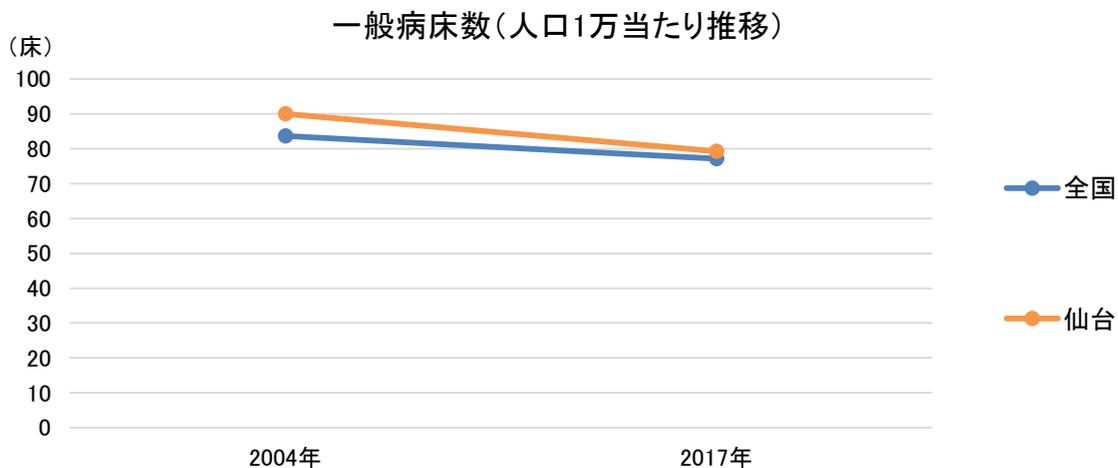
人口当たり医師数・総病床数の推移



#### 4.宮城県(2018年版)

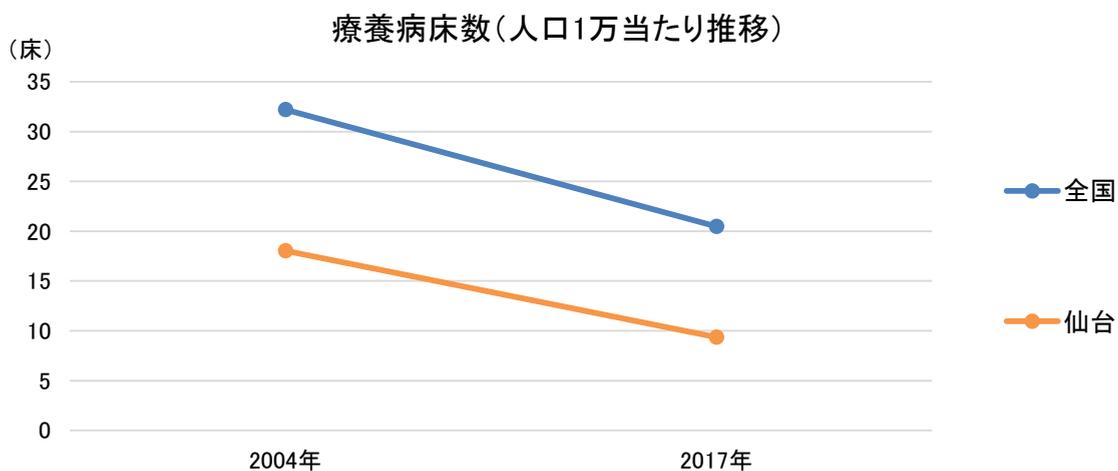
##### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が13,174床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2017年に12,111床(人口1万人当たり79(全国平均77)偏差値51)と、1,063床の減少、率にして8%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



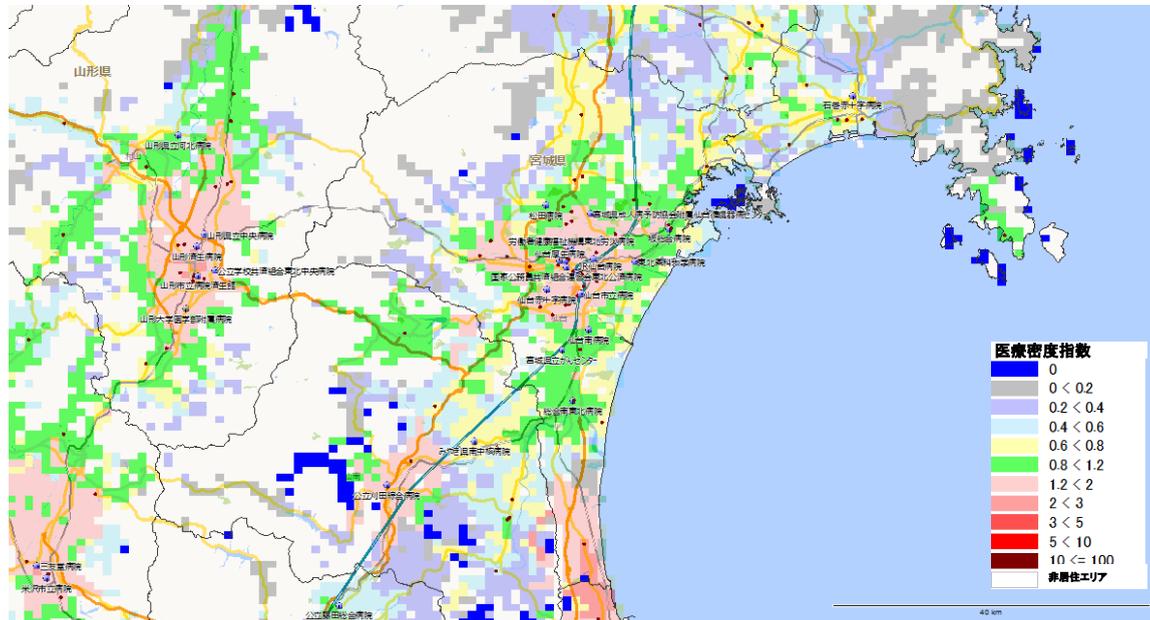
##### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,927床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2017年に1,560床(75歳以上1,000人当たり9(全国平均20)偏差値40)と、367床の減少、率にして19%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



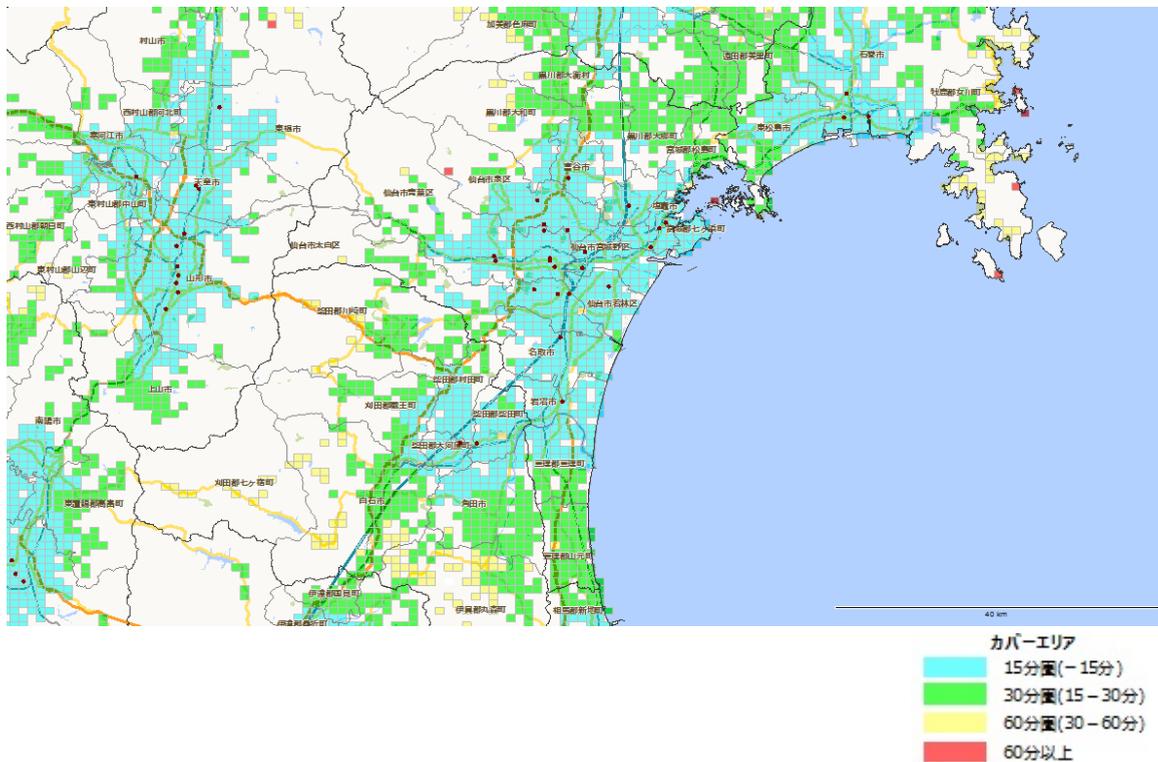
(仙台医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表4-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表4-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

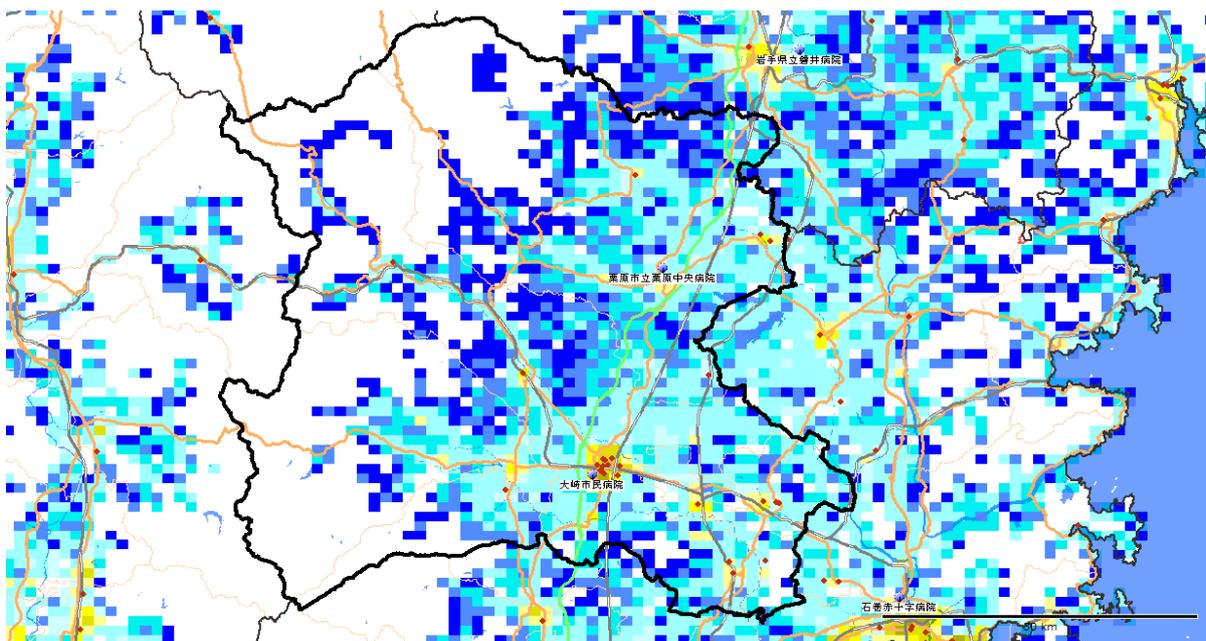


# 4-3. おおさき くりはら 大崎・栗原医療圏

構成市区町村 [栗原市](#) [大崎市](#) [色麻町](#) [加美町](#)  
[涌谷町](#) [美里町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (大崎・栗原医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 大崎・栗原(栗原市)は、総人口約276千人(2015年)、面積2,329km<sup>2</sup>、人口密度は118人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 大崎・栗原の総人口は2025年に248千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に203千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の47千人が、2025年にかけて49千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には52千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 大崎・栗原の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値53)、介護給付費は286千円(偏差値60)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 大崎・栗原の一人当たり急性期医療密度指数は0.54、一人当たり慢性期医療密度指数は0.9で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。大崎・栗原には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大崎市民病院(Ⅱ群・救命)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値39と少ない。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 大崎・栗原の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,047人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,751床(偏差値47)、高齢者住宅等が1,296床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,849人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。  
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設46、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム52、グループホーム53、サ高住46である。
- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、418人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- \*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(大崎・栗原医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

大崎・栗原医療圏の総人口は、2005年298,546人が、2015年に275,831人と8%減少し、2025年の人口が248,243人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

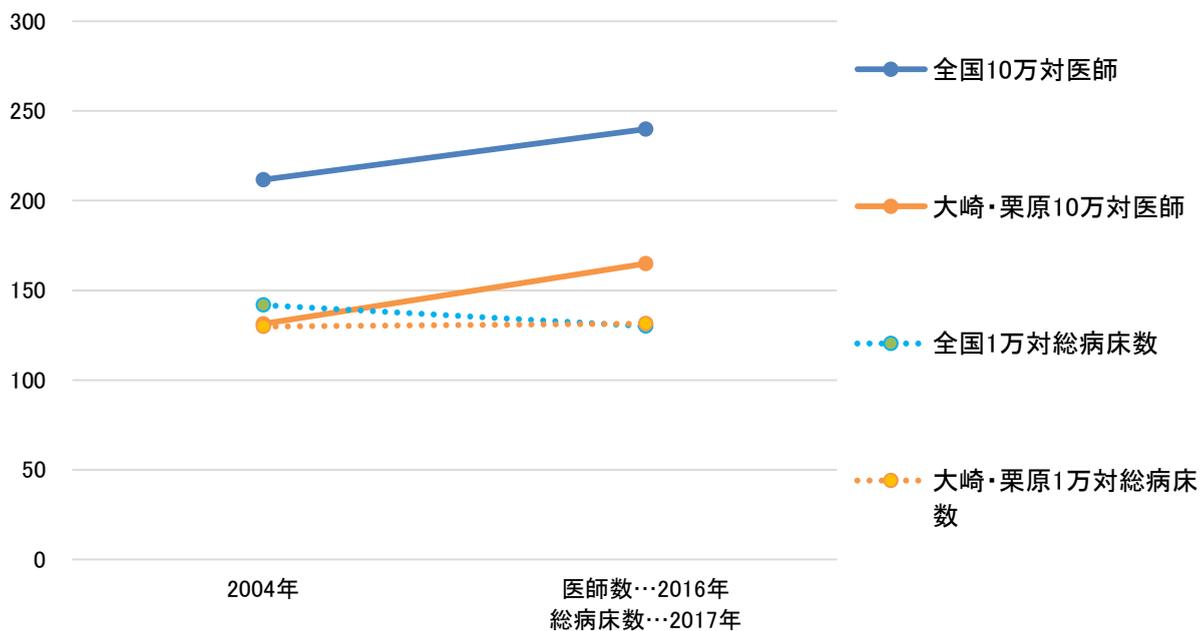
2004年の病院数が27(人口10万人当たり9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2017年に26(人口10万人当たり9.4病院(全国平均6.6)偏差値56)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が169(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2017年に167(人口10万人当たり61診療所(全国平均80)偏差値40)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,879床(人口1万人当たり130(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に3,628床(人口1万人当たり132(全国平均130)偏差値50)と、251床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

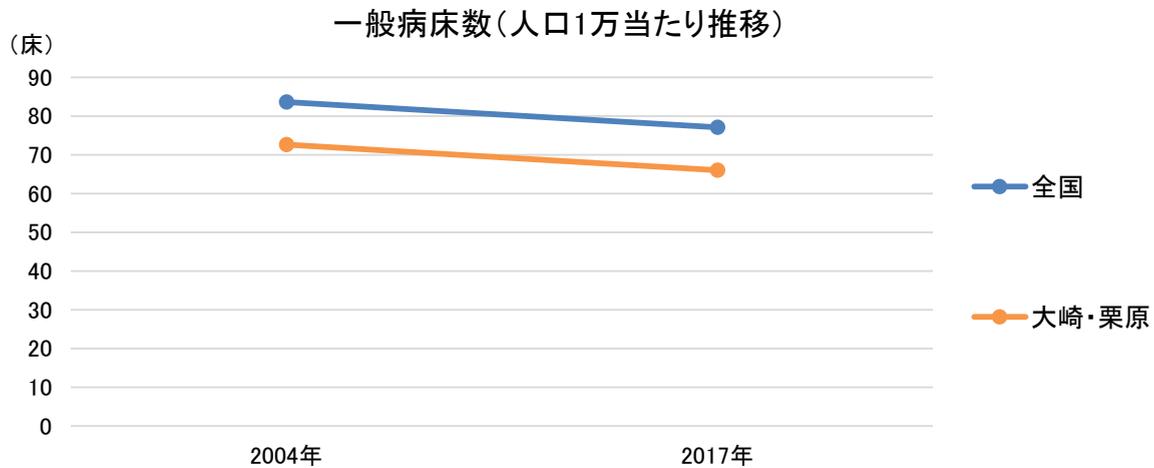
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が392人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に455人(人口10万人当たり165人(全国平均240人)偏差値42)と、63人の増加、率にして16%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



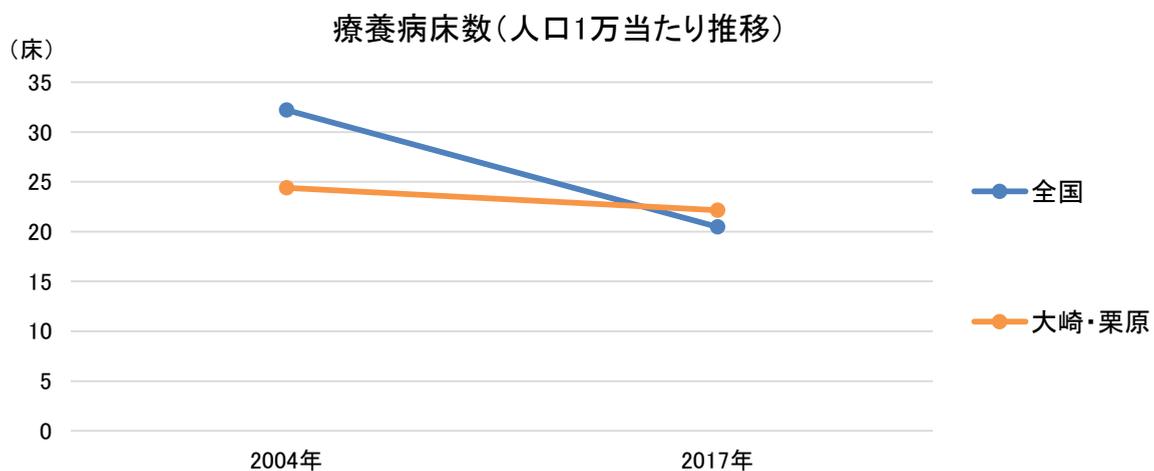
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,168床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に1,822床(人口1万人当たり66(全国平均77)偏差値46)と、346床の減少、率にして16%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



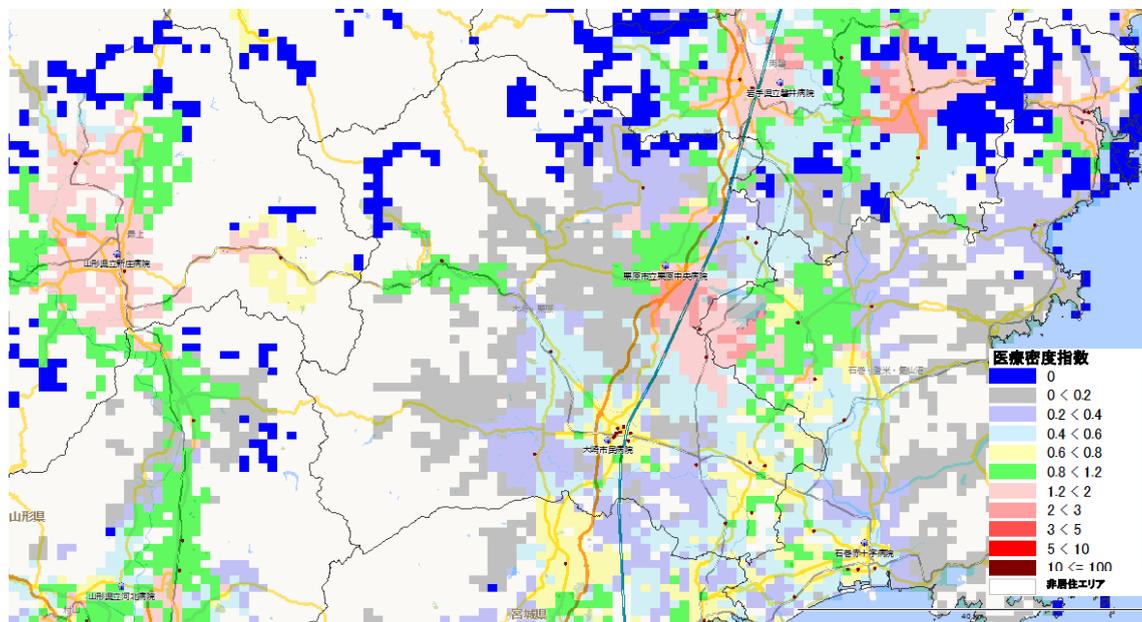
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が939床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2017年に1,050床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値51)と、111床の増加、率にして12%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



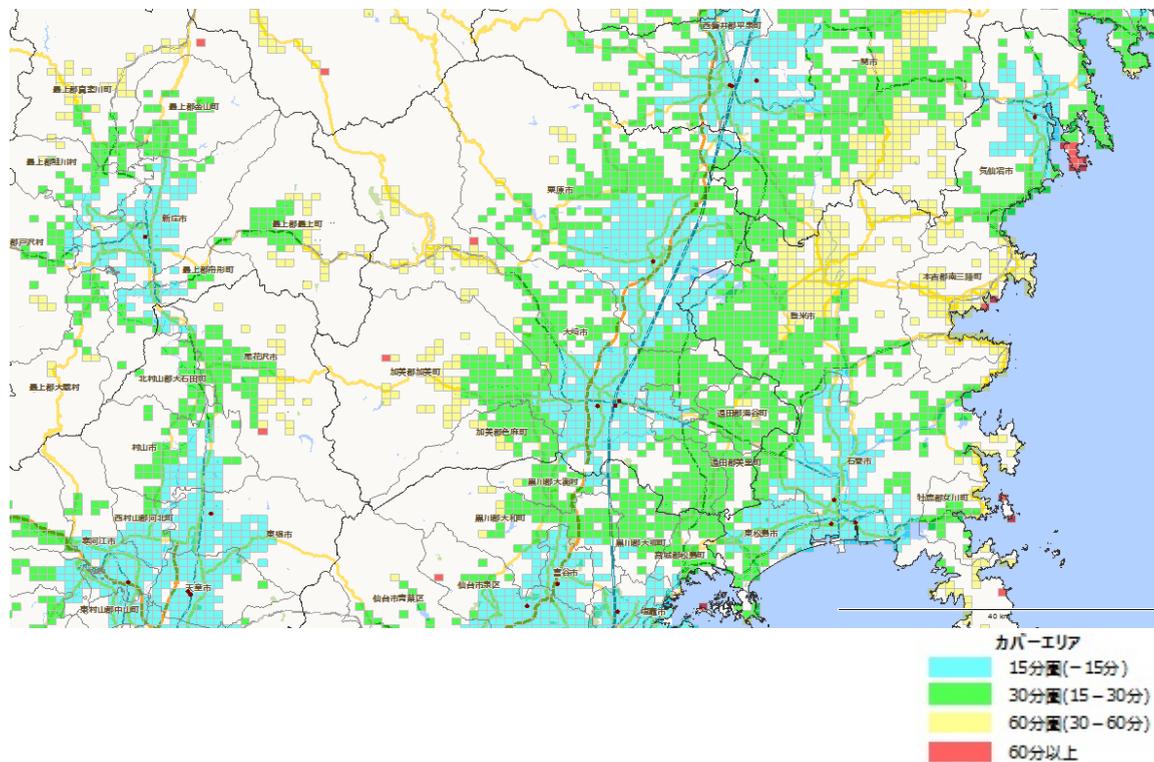
(大崎・栗原医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表4-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表4-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

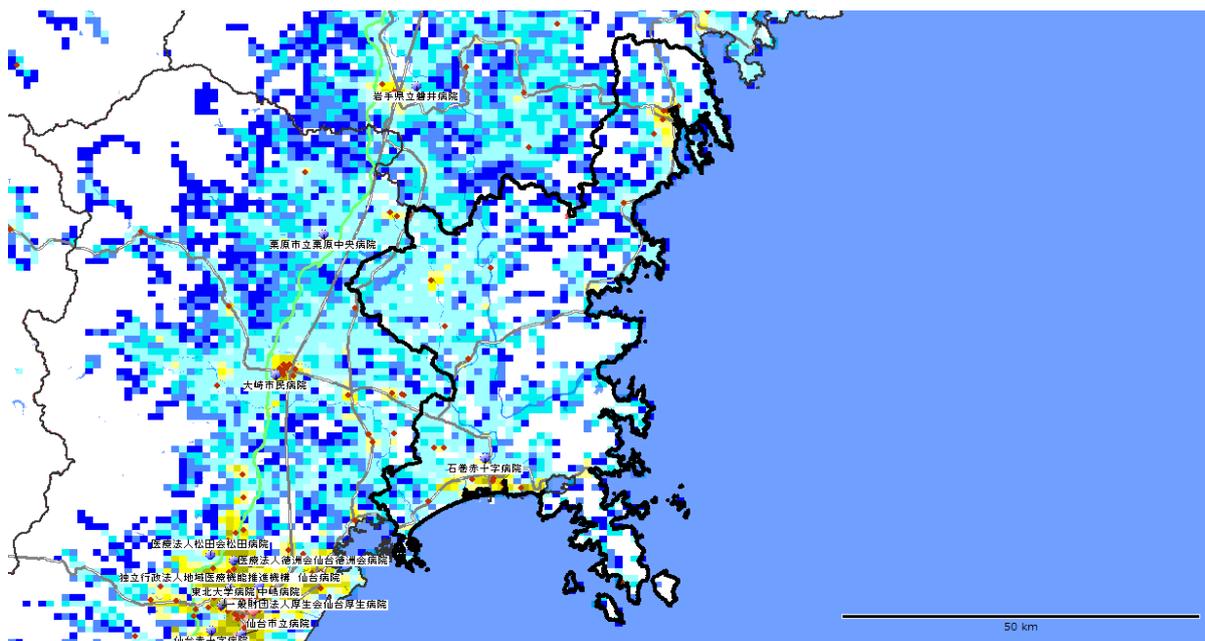


# 4-4. いしのまき とめ けせんぬま 石巻・登米・気仙沼医療圏

構成市区町村 [石巻市](#) [気仙沼市](#) [登米市](#) [東松島市](#)  
[女川町](#) [南三陸町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(石巻・登米・気仙沼医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

\*人口、面積など： 石巻・登米・気仙沼(石巻市)は、総人口約352千人(2015年)、面積1,753km<sup>2</sup>、人口密度は201人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 石巻・登米・気仙沼の総人口は2025年に309千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に235千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の58千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には62千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 石巻・登米・気仙沼の一人当たり医療費(国保)は360千円(偏差値53)、介護給付費は256千円(偏差値51)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 石巻・登米・気仙沼の一人当たり急性期医療密度指数は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数は0.56で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数42、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。石巻・登米・気仙沼には、年間全身麻酔件数が2000例以上の石巻赤十字病院(Ⅱ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 石巻・登米・気仙沼の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,787人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,497床(偏差値49)、高齢者住宅等が1,290床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,536人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム47、グループホーム51、サ高住41である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値34と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、445人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (石巻・登米・気仙沼医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

石巻・登米・気仙沼医療圏の総人口は、2005年407,254人が、2015年に352,368人と13%減少し、2025年の人口が308,576人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

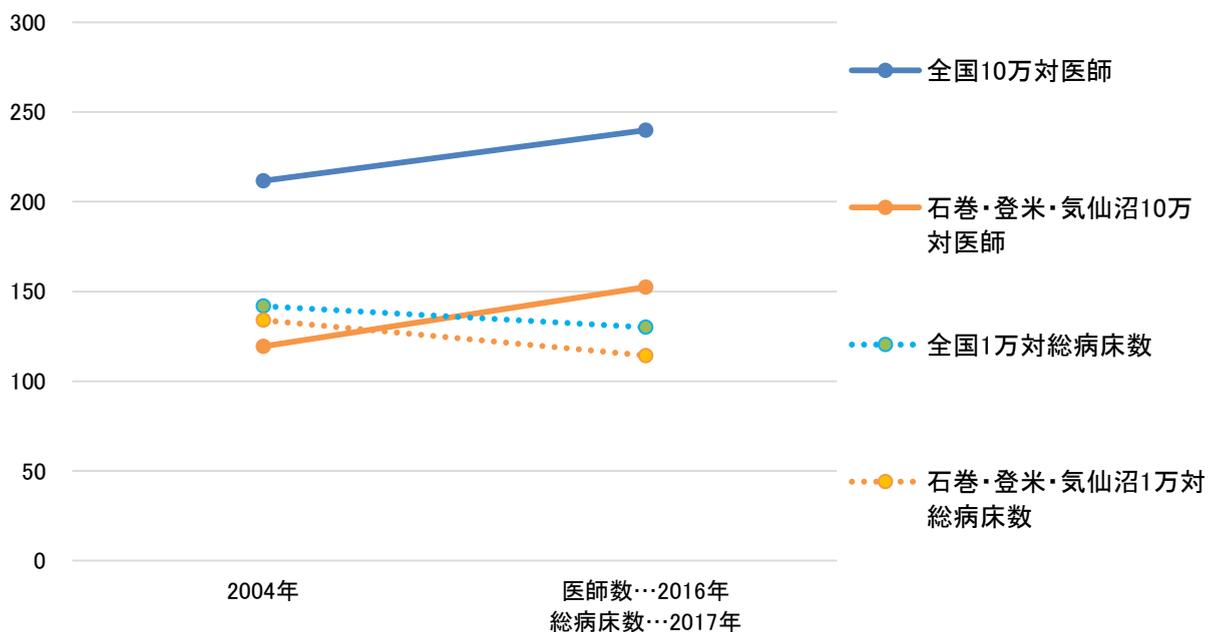
2004年の病院数が27(人口10万人当たり6.6病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2017年に22(人口10万人当たり6.2病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が215(人口10万人当たり53診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2017年に210(人口10万人当たり60診療所(全国平均80)偏差値39)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,457床(人口1万人当たり134(全国平均142)偏差値49)であったが、2017年に4,027床(人口1万人当たり114(全国平均130)偏差値47)と、1,430床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が486人(人口10万人当たり119人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2016年に537人(人口10万人当たり152人(全国平均240人)偏差値40)と、51人の増加、率にして10%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

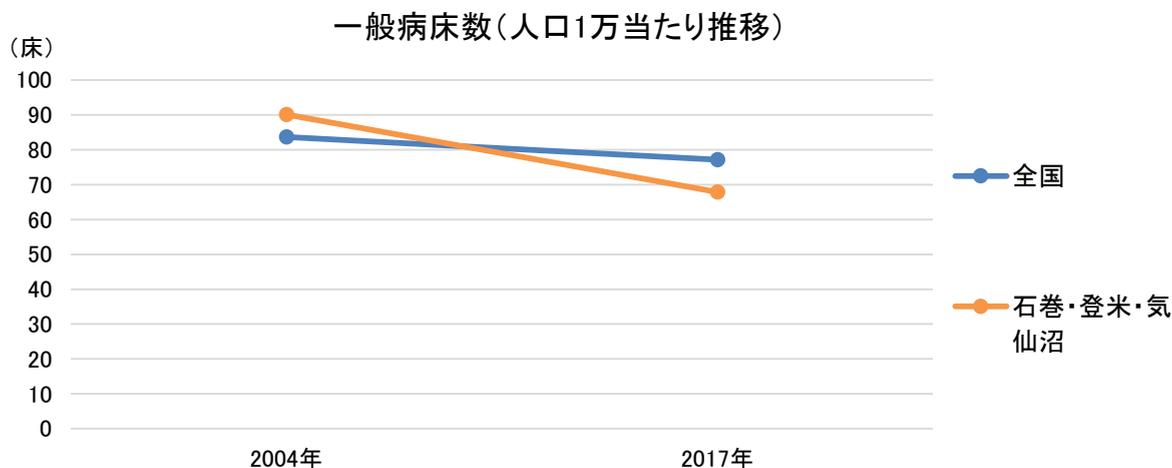
人口当たり医師数・総病床数の推移



#### 4.宮城県(2018年版)

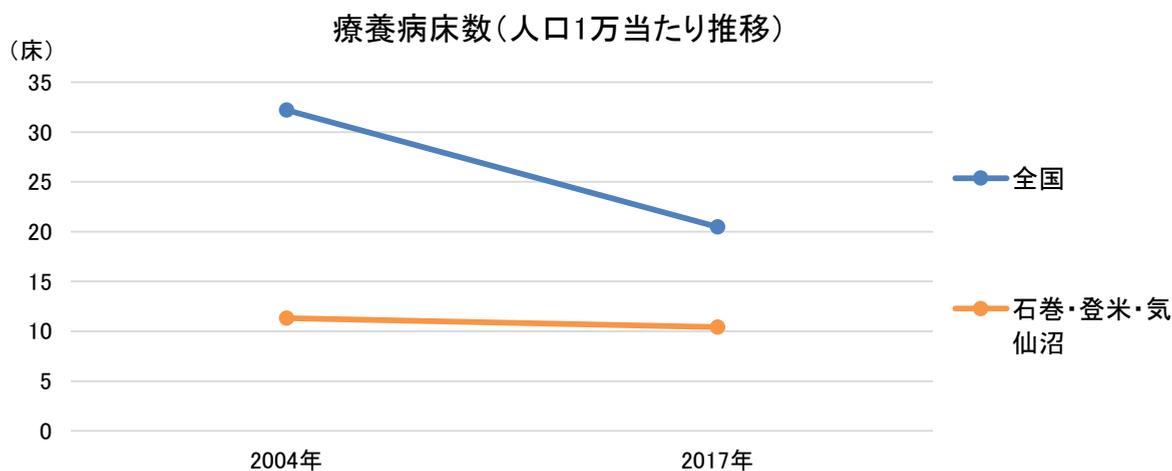
##### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,668床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2017年に2,392床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値46)と、1,276床の減少、率にして35%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



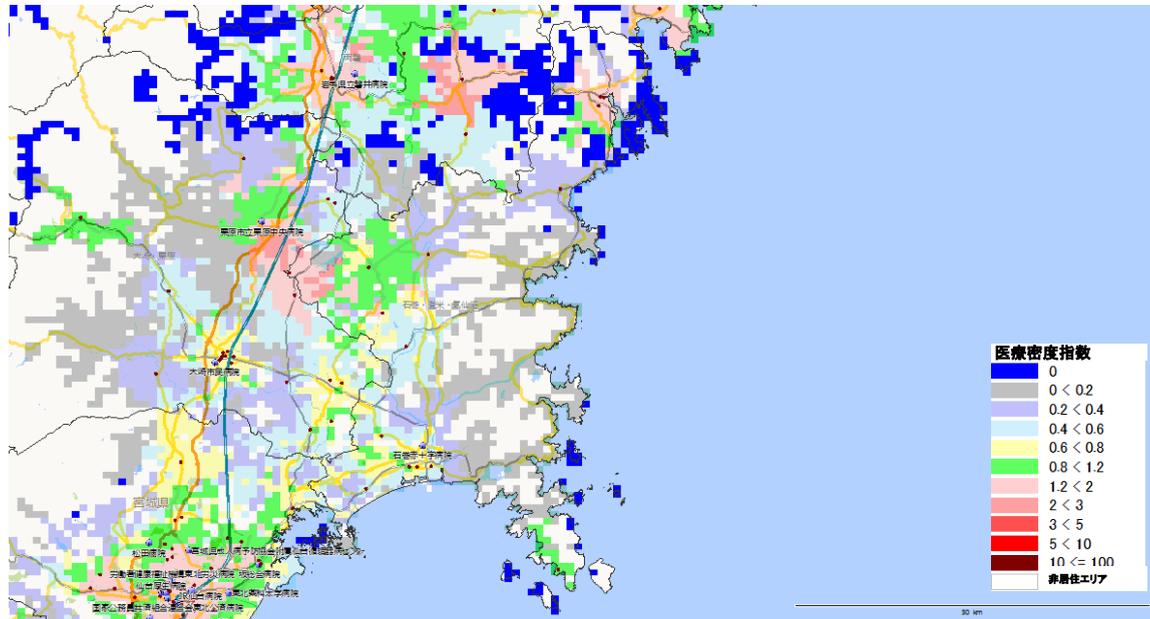
##### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が552床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2017年に604床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、52床の増加、率にして9%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



(石巻・登米・気仙沼医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表4-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表4-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

